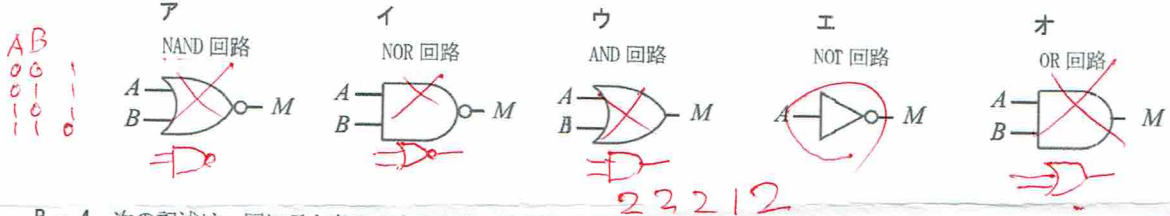
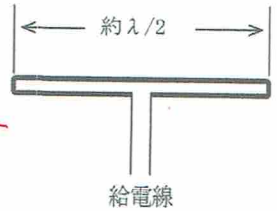


B-3 図は、通常用いられる論理回路及びその名称の組合せを示したものである。このうち正しいものを1、誤っているものを2として解答せよ。ただし、正論理とし、A及びBを入力、Mを出力とする。



B-4 次の記述は、図に示す素子の太さが均一な折返し半波長ダイポールアンテナについて述べたものである。□内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

- (1) 給電点インピーダンスは、約 □ア [Ω] である。292
 (2) 利得は、半波長ダイポールアンテナ □イ である。とほぼ同じ
 (3) 帯域は、一般に半波長ダイポールアンテナに比べ、□ウ である。広帯域
 (4) 実効長は、使用する電波の波長を λ [m] とすれば □エ [m] で表すことができる。 $\frac{2\lambda}{\pi}$
 (5) 大地に □オ に設置されたときの水平面内の指向性は、半波長ダイポールアンテナとほぼ同様な8字特性である。平行



- | | | | | |
|---------|------|-------|-------|------------------|
| 1 とほぼ同じ | 2 平行 | 3 73 | 4 広帯域 | 5 $2\lambda/\pi$ |
| 6 の約2倍 | 7 垂直 | 8 292 | 9 狭帯域 | 10 λ/π |
- 81452



B-5 次の記述は、CM形電力計による電力の測定について述べたものである。□内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

CM形電力計は、送信機と □ア 又はアンテナとの間に挿入して電力の測定を行うもので、容量結合と □イ を利用し、給電線の電流及び電圧に □ウ する成分の和と差から、進行波電力と □エ 電力を測定することができるため、負荷の消費電力のほかに □オ を知ることもできる。CM形電力計は、取扱いが容易なことから広く用いられている。

- | | | | | |
|-------|-----------|-------|--------|--------|
| 1 反射波 | 2 負荷の整合状態 | 3 反比例 | 4 誘導結合 | 5 擬似負荷 |
| 6 高調波 | 7 占有周波数帯幅 | 8 比例 | 9 抵抗結合 | 10 受信機 |
- 54812